

第 1 号議案 2019 年度事業報告

1. 概要

<この一年>

2019 年度の後半は、世界中に蔓延する新型コロナウイルス対策に集中することになりました。学校は臨時休校、保護者は在宅勤務となり、「ステイホーム（自宅で過ごす）」として外出自粛が呼びかけられました。

子どもからの電話相談を受けている法人によれば、「話を聴いてほしい」「答えがほしい」「誰かとつながっていたい」がほとんど。自分の心に関することが主訴でした（NPO 法人チャイルドライン支援センター）。長く家に留まることは、子どもが自分と葛藤していることと分析しています。そうしたなか、国はすべての都道府県の緊急事態宣言を解除しました。第二波につながらないように、ウイルス対策は現在も続いています。

子どもたちも公園で遊び、体を動かす楽しさを取り戻し始めていますが、友達と離れて遊ぶなど、子どもにとって「人とのつながり」を作っていくには、未だに厳しい状態が続いています。

名古屋市では、子どもの権利擁護のための「なごもっか」が1月に誕生しました（こまち通信 34 号）。独立した第三者機関として、名古屋市での子どもの権利保障は格段に前に進むと考えられます。

<主たる事業（事業詳細は次章で）>

自主事業および、千種区社会福祉協議会の助成を受けた「ワンストップひろば」事業は、今年は新型コロナウイルス対策のため3月、4月は閉所しましたが、年73回を数え、のべ363組の利用がありました。

医療・研究・福祉・企業分野からメンバーを集めた「STEP プロジェクト」は、自主事業で継続し、支援者・保護者対象の研修や出張講座を展開しました。

<名古屋市青少年交流プラザ（ユースクエア）指定管理（事業詳細は次章で）>

2019 年度は、職員 2 名、非常勤職員 2 名が担当し、子ども・若者への支援事業を担いました。

<そのほかの事業。他団体との協働など（事業詳細は次章で）>

名古屋市主催の「なごや☆子ども City2019」を今年も受託し、11 月の 2 日間、名古屋国際会議場で開催しました。実行委員を含め、のべ 800 人を超える子どもたちと共に「子どものまち」を展開しました。

<会員の状況>

正会員	個人：41 人、団体：2 団体	（昨年度個人：41 人、団体：2 団体）
情報会員	個人：5 人、団体：0 団体	（昨年度個人：6 人、団体：1 団体）
賛助会員	個人：7 人、団体：1 団体	（昨年度個人：6 人、団体：1 団体）
合計	53 人と 3 団体	（昨年度 53 人と 4 団体）

2.事業の実施に関する事項

文中の敬称は略しました。

① 「こどもにやさしいまちづくり」のための手法開発と普及、支援政策提言

事業名	名古屋市青少年交流プラザ（本館）、名古屋市青少年宿泊センター（分館）指定管理
主催	名古屋市子ども青少年局
事業目的	青少年交流プラザ（ユースクエア）における、主に若者の地域参画や自立に向けた体験活動などについて事業を企画し運営する。
実施期間	2017年4月～2020年3月の3年目
スタッフ	白川陽一・小島紫（常勤職員）、伊藤一美・水野真由美（理事／非常勤職員）、田中弘美（理事・「ぼくらのサードプレイス事業統括）
事業内容	<p>・ 公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会、特定非営利活動法人 ICDS との三者のコンソーシアムで運営管理。</p> <p>・ 以下は2019年度の事業のうち、子まちが担当したもの。</p> <p>※ユースクエアでは、若者の支援プログラムを三段階にとらえ、まず人とつながり、次に、地域社会につながり、最後にはその地域社会に貢献できるような若者を育成するという段階を踏んだ支援事業を企画している。</p> <p>◆一層目：人につながる支援</p> <p>ユースクエアが心地の良い居場所であることを目指した事業の1つが、「ぼくらのサードプレイス」。コミュニケーションが苦手という人が集まり、ゲームやワークショップで同じ場の人々と安心した人間関係をつむぐことをめざした。</p> <p>開催日：5月26日（日）、6月23日（日）、7月28日（日）、8月25日（日）、9月21日（土）、10月19日（土）、11月24日（日）、1月26日（日）、2月16日（日）</p> <p>参加人数：のべ40人の参加があった</p> <p>「なんでも TRY at ユースクエア」では、月1回開催し、のべ105名の参加があった。若者の興味関心を汲み、アニメやアクセサリーづくりを行った。やりたいことを掲示板に自由に書いて仲間をつくるアナログな手法をとっているが、功を奏している。</p> <p>「ミーティング・ファシリテーター入門講座」は、計3回行い、のべ50人が参加した。昨年に引き続き上井靖さん（A-sessions）に登壇いただきファシリテーションのキモを学んだ。</p> <p>開催日と参加人数：6月8日（土）（参加26名）、6月15日（土）（参加11名）、6月22日（土）（参加13名）</p> <p>◆二層目：地域・まちにつながる支援</p> <p>プラザ企画委員会では、「ユースクエアまるはち夏まつり」（8月6日、のべ512名参加）「ユースクエア青春祭」（11月16日、のべ45名参加）等の企画・運営を行い、青</p>

	<p>少年をパートナーとした運営体制を構築した。</p> <p>名古屋市市民活動推進センター主催の「ぼらマッチ！なごや」(6月15日(土)、会場・愛知学院大学名城キャンパス)にブース出展し、ユースクエアの若者が他施設・他団体との若者とつながる機会をつくった。</p> <p>◆三層目：地域・まちに働きかける支援</p> <p>「サステナまち計画 2019」は、愛知学院大学・名古屋市北区役所等と協働し、広く「持続可能な地域」を見据え、北区の地域問題(今回は高齢化に伴う諸問題)について、地元企業と協力をしながら解決に寄与するアイデアを若者が提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 2019年8月8日(木)・8月24日(土) ・協力企業6社 ・参加者(中高大学生 のべ42名) ・成果発表会 2019年8月24日(土) 参加60名 <p>「未来デザイン・ファシリテーター実践講座」は、9月28日(土)、10月5日(土)、26日(土)に開催し、のべ44名が参加した。社会に変化を起こすイノベーション・ファシリテーターとしての在り方を、入門編同様に上井靖さんから学んだ。</p> <p>このほか、「ユースカンファレンス」を行った。若者が本館・分館の運営に参画していくことを意図している。両館の利用経験の有無にかかわらず、若者に集まってもらい施設や事業の評価を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月26日(火)、会場・中部大学、参加6名 ・12月14日(土)、会場・ユースクエア、参加17名
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんでも TRY at ユースクエア」から誕生した自主イベント「アニメトーク」は3年目を迎え、毎回10名程度の若者が継続して交流し続けている。 ・「ファシリテーター入門/実践」に代表されるように、1つの事業がきっかけとなり複数の企画(事業)に展開する例も作っている。 ・「ユースカンファレンス(本館)」では、歴代のユースクエア企画委員会のメンバーに集まってもらうなど、これまで施設に関わった若者の力を結集した。 ・昨年の事業「サステナまち計画～柳原通夏祭り編～」をさらに充実・発展させた事業「サステナまち計画2019」を実施し、ユースクエアを含む地域のステークホルダーとネットワークを構築することに貢献できた。 ・ユースクエアでは職員がサポーターとなり、事業企画を作った経験のない青少年がやってみたいことを実現し、発展して地域に参画していくプロセスを経験できる機会を創出している。 ・継続参加の若者が増えることで、彼らの居場所が確保されていると感じる一方、新規参加者数の伸び悩みが一部で起こっている。 ・複数事業に参加する若者の育成を継続的に創出する仕組みを考える必要がある(R2年度で実装予定 ※新型コロナの影響で当初の計画を修正中)。 ・「サステナまち計画2019」の実践を通してステークホルダーからの期待が大きくなったので、それに応える関係性の構築をさらに図っていく必要がある。

事業名	なごや☆子ども City 2019
主催	名古屋市子ども青少年局
事業目的	なごや子ども条例に掲げられている、子どもの社会参画を推進する事業。社会の一員として自立し、想像する力、主体性、社会性を育み、実行委員は設営、本番を通して子どもの参画を促進する。
実施期間	2019年8月～11月（子ども実行委員会会議は振り返り含めて全6回。初回の8月は台風のため中止） 準備 11月2日（土） 本番 11月3日（日・祝）、4日（月・休）
スタッフ	伊藤一美、水野真由美、鬼頭弘子、大西宏治（以上理事）、西村健、水野千鶴、横井寿史、小田奈緒美、船橋理仁、竹入悠渡、鈴木桜子（以上会員）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年度から15年度まで市主催で行われてきた「子どものまち」事業を民間に委託。2016年度から2019年度は子ども&まちネットが受託している。子ども実行委員（小学校5年生～高校生世代）60人による事前会議4回、ふりかえり1回をユースクエア・プレイルームで行うほか、準備日も会議を行った。 ・今年度は名古屋国際会議場を会場にした。また子どもの相談日を2日、大人研修は3回行った。 ・当日は、2日間で市内各地からのべ761名を越える小中高生が参加。詳細は会員配布の報告書を参照のこと。ボランティア128名（会員・理事）12名、協賛企業は47社。

その他 講師依頼

事業名	3.11の今がわかる会議 in 名古屋～東日本大震災の今と関わり方を考える
実施期間	2019年9月27日（日） 事例紹介：伊藤一美（理事）
事業内容	<p>主催は東日本大震災全国ネットワーク。共催は認定NPO法人レスキューストックヤード。東日本大震災の今を知り、関わりを考えることが、日本の未来を創り、日本各地でおきている災害復興の希望となる。</p> <p>一部では登壇者には、岩手県大槌町の福祉事務所職員・東梅麻奈美さん、宮城県からは東北工業大学教員の新井信幸さん、福島県相馬町で精神科医療保険福祉システムを提案する米倉一磨さんのほか、NPO法人まちの縁側育み隊の名畑さんが登壇。</p> <p>二部では、岩手県で桜ラインを構築する岡本翔馬さん、宮城県で子どもを応援する「浜わらす」の天澤寛子さん、福島県の飯館村職員横山秀人さんをはじめ、名古屋工業大学の大原一哲さん、避難所でアロマハンドトリートメントを行う鈴木ユカリさんとともに、伊藤が2012年度に弊法人が福祉医療機構助成で行った「ユースオシカ」事例などの発表を行うほか、子ども・若者とまちづくりをしていく意義を伝えた。</p>

事業名	大府市「素敵な親子関係を紡ぎ直そう！ 大府から始まる子どもの自己肯定感づくり」
実施期間	2019年12月1日（日） 講師：伊藤一美（理事）
事業内容	大府市青少年女性課と、吉田まちづくり協議会による「家庭教育部講演会」。弊法人の事業紹介、子どもの自己肯定感の育成のために、地域の人々ができることについて話し合った。

委員：名古屋市交通問題調査会委員、名古屋市名古屋子ども・子育て支援協議会委員、大府市青少年問題協議会委員（以上伊藤）

②子ども・子育て・まちづくりに関する情報収集と発信事業

事業名	こまち通信、会員 ML（メーリングリスト）運営、サイト運営、Facebook 運営
自主事業	
事業目的	子まち会員への情報提供。会員相互の交流も兼ねる。
実施期間	通年：サイト管理、Facebook 管理 「こまち通信」33号：2019年5月、34号：2020年1月
担当	こまち通信：伊藤一美（理事）、会員 ML：伊藤一美（理事）、サイト運営：西村健（会員）、藤岡博孝（外部委託）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通信・MLとも事業の告知・報告をはじめ、会員に知らせたい内容などを掲載。MLは会員同士の情報交流を目指す、年13回の発信にとどまった。 ・こまち通信33号：「子どもの意見表明権を考える」奥田理事の東京新聞・中日新聞での紹介記事の紹介。またユースクエア事業やワンストップひろばの様子も伝えた。 ・こまち通信34号：「なごや☆子ども City2019」の紹介記事、ユースワーカー協議会への参加、STEP プロジェクト事業報告、名古屋市権利擁護機関「なごもっか」、ワンストップ広場の様子などを紹介した。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体による情報発信の「こまち通信」、HP やメーリングリストのあり方は、以前より課題になっている。 ・一方、フェイスブックなどへの閲覧は増えているため、SNS の活用にシフトしていく可能性も考えていきたい。

③子ども・子育て・まちづくりに関わる人々のネットワークづくり、コーディネート事業

事業名	ワンストップひろば「小さい子どものセンスオブワンダー」
自主事業	
助成元	千種区社会福祉協議会（赤い羽根募金）、コープあいち福祉基金、デンソーはあとふる基金
事業目的	乳幼児期の子育ての不安の解消、仲間づくりなどを手伝い、子育て情報を伝える。また保護者同士の仲間作りをサポートする。
実施期間	自主期間：2019年5月1日～2020年4月30日（コープあいち・社協助成を除く） ・社会福祉協議会：2019年7月1日～2019年3月31日（「子どものからだ」学習会5回開催） ・コープあいち：2018年9月1日～2019年8月31日の12ヶ月 ・デンソーはあとふる基金：表入り口看板、子ども用のダンボール椅子40脚、プロジェクター1台
スタッフ、講師	戸谷令子、水野千鶴、寺本久美子（ヨガ講師）（以上会員）、その他9名／水野真由美、伊藤一美（理事）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「自由遊び」「おはなし会」「親子ヨガ体験」「季節行事」「子どもの体を学ぶ」「乳幼児のいる家庭での災害対策」など多様なプログラムで、地域の乳幼児と保護者の居場所を作った。 ・新型コロナウイルス対策で、3・4月は活動を停止。1年で全73回開催。子どものべ495名、保護者341名が参加。うち、新たに参加した利用者は22組となった。

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大和学区は少子化が進んだ地域であるが、近隣で乳幼児を育てる保護者には友達作りの場となっている。多くの利用者がリピーターとなり、とりわけ2019年度は乳児の参加が増えた。主任児童委員も災害等の学習会に参加していただいた。 ・スタッフブログ、インスタグラムによる情報発信を行い、利用者との新しいコミュニケーションが広がった。 ・昨年に続きスタッフの確保、経費、外遊びのプレイワーカーの不足が響いている。
-------	--

事業名	子育てネットワーク千種 ミニ子育て広場
主催	子育てネットワークちくさ（事務局：千種区民生子ども課）
事業目的	区内の子育て支援関係機関等がネットワークを構築し子育て家庭への情報提供・相談の場、交流の場を作って子育てに喜びが感じられる地域社会への転換を目指す（規約より抜粋）
実施期間	2019年度は7回行った。○印が子ども&まちネット参加の日で、参加日は千種区の子育て情報が書き込まれた地図（大西副理事長作成）を掲示し、訪れた人と話し合った。 ○6月4日（火）（千種スポーツセンター）、○7月11日（木）（東スポーツセンター）、○9月19日（木）（千種児童館）、○10月9日（水）（区役所講堂）、11月13日（水）（千種文化小劇場）、○12月5日（木）（千種スポーツセンター）、1月22日（水）（香流橋地域センター）
担当	伊藤一美（理事）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び、大型絵本、パネルシアターなど保育所が持つ資源で親子で遊ぶ場を作るほか、子育て相談、身体測定や、リフレッシュ保育制度の説明などを行う。 ・子まちは千種区の模造紙サイズの地図（副理事長・大西宏治制作）を持ち込み、参加者と地図を真ん中に話し合った。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市内各区で支援ネットワークが構築され、それぞれが個性的な催しを行っている。 ・千種区は保育所主導で遊びの場を区内の公的施設で展開しており、楽しみにしている親子も少なくない。 ・区内で活動しているNPOや子育てサークルがブース出展することなどは視野がなく、一日限りのお楽しみになっている。アンケートを見ると、参加者は友だち作りをしたくて来場しているため、その目的に叶った企画も必要と考えられる。

その他の団体との連携、ネットワークづくり

名古屋市子ども・若者支援地域協議会

愛知県青少年育成県民会議

子育てひろば全国連絡協

議会、NPO 法人子ども健康フォーラム

④ ①から③に関する研修・養成等企画運営事業

事業名	障がいのあるユースが学ぶ私の心と体
自主事業	保護者・支援者向け集中研修 「変わっていく思春期の「からだ」と「こころ」を大好きになる 2019 ～障がいのある子ども・若者の 性と生の理解と支援～
事業目的	「障がいのある子ども・若者が、地域で安心して暮らすために社会からの孤立を防止し、自己肯定感をあげる」ことを目的に、他者とのコミュニケーション力を身につけ自身を大切にする気持ちを育ていけるよう支援をする。
実施期間	2019年5月～2020年4月
担当	田中弘美、水野真由美(以上理事)、山崎恵美子(事業事務局) 事業立案、運営は子ども&まちネットのほか、障がい児者の支援に関わるSTEPプロジェクト委員会を構成。メンバーは、木全和己(日本福祉大学)、伊藤修毅(同)、伊藤加奈子(産婦人科医)、市川恭平(養護教諭)、鉄井史人(特別支援校教諭)、竹内健悟((社福)ゆめネット)、鈴木由紀子((有)アシスト)、秋好眞澄(障がいのある子どもの父母のネットワーク愛知)、戸谷令子(同)。藤原美保((株)スブレンディード)、河村あゆみ(発達相談員)。
事業内容	2018年度福祉医療機構(WAM)助成で作成した「Study Book」を活用して、保護者・支援者向けに研修(基礎研修・実践研修)を開催した。 ◆保護者・支援者向け集中研修 ・基礎研修 2019年10月27日(日)9:40～16:50 ウインクあいち(愛知産業労働センター)10階1001会議室 参加者:63名(障がい児者の支援や教育に携わる事業所職員、保護者、学生等) 講師:伊藤加奈子、木全和己、伊藤修毅 ・実践研修 2019年11月3日(日・祝)～4日(月・休)9:30～18:00 ウイルあいち(愛知県女性総合センター)2階特別会議室 参加者:23名(基礎研修を受講した障がい児者の支援や教育に携わる事業所職員、保護者、教員等) 講師:木全和己、伊藤修毅、ファシリテーター:STEPプロジェクトメンバー ◆プロジェクト委員会の開催 プロジェクト委員による、講座内容の検討及び準備を行った 第1回 2019年4月25日(木) @アライフラボ 第2回 2019年7月1日(月) @日本福祉大学鶴舞大学院8D 第3回 2019年10月1日(月) @日本福祉大学鶴舞大学院8D 第4回 2019年12月4日(水) @日本福祉大学鶴舞大学院8D

	<p>◆出張講座</p> <p>① あわじ助産師会/兵庫県淡路県民局洲本健康福祉事務所 日時：2019年8月27日（火） 対象：保護者、教員、保険師等 講師：木全和巳</p> <p>② 株式会社チャイルドハートプロ（あま市内放課後等児童デイサービス事業所） 日時：2019年8月17日（土） 10時～12時 対象：当事者（放デイ利用者）、職員、保護者の一部 講師：田中弘美</p>
<p>成果と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度、WAM助成で研修を2回開催した際、参加者からより長く深く学びたいとの声が多かったので基礎研修1回と実践研修1回(計2回)を計画した。基本となる座学をしっかり学んだ後、それぞれの現場でどう取り組むかを検討し、グループに分かれて与えられたテーマで10分の講座を作り、発表するというプログラムとした。 ・産婦人科医の講座の評価が高く、医学と福祉の両面を学ぶことへの満足度が高かった。 ・基礎研修の前に「現状の知識」を図るミニテストを実施し、研修後に同じテストを再度実施した。解答に大きな変化が見られ、参加者の意識の変化が明確に表れた。 ・研修は、申し込みが早い段階で定員に達し、キャンセル待ちが出るなどニーズは高い。

3. 会議の開催に関する事項

(1) 総会

1、開催日および場所

日時：2019（令和元）年6月22日（土）18時～18時45分
場所：子ども&まちネット ひろばスペース

2、議題

- 第1号議案：2018年度事業報告の承認について
- 第2号議案：2018年度事業決算の承認について
- 第3号議案：2019年度事業計画の議決について
- 第4号議案：2019年度予算計画の議決について

(2) 理事会

第1回 理事会

1、開催日および場所

日時：2019（令和元）年5月25日（土）18時～22時
場所：子ども&まちネット ひろばスペース

2、議題

- 第1号議案：総会準備の資料確認
- 第2号議案：そのほか報告事項
- 第3号議案：次年度計画等

第2回 理事会

1、開催日および場所

日時：2019（令和元）年6月22日（土）17時～17時半

場所：子ども&まちネット ひろばスペース

2、議題

総会議題の確認

第3回 理事会

1、開催日および場所

日時：2019（令和元）年8月4日（日）13時～15時半

場所：子ども&まちネット ひろばスペース

2、議題

第1号議案：次年度、ユースクエア・宿泊センターの指定管理者にエントリーするか

第2号議案：会員の見直し

第3号議案：子ども条例への意見聴取事業に手をあげるか

第4号議案：STEP事業の報告

第4回 理事会

1、開催日および場所

日時：2020（令和2）年2月19日（水）19時～21時

場所：子ども&まちネット ひろばスペース

2、議題

第1号議案：次年度、ユースクエア・宿泊センター指定管理にエントリーするか

第2号議案：会員の見直し

第3号議案：STEPの事業

第4号議案：ひろば事業

第5号議案：そのほか報告事項

第5回 理事会

1、開催日および場所

日時：2020（令和2）年4月1日（水）19時～21時

場所：子ども&まちネット ひろばスペース

2、議題

第1号議案：ユースクエア・宿泊センターの指定管理者にエントリーするか

第2号議案：理事の改選

第3号議案：STEPの事業

第4号議案：ひろばの再開

第5号議案：そのほか報告事項